

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		7,529	t-CO ₂
（温室効果ガス換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		7,529

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
温室効果ガス総排出量	8,939	t-CO ₂	8,068	t-CO ₂	8,785	t-CO ₂	8,065	t-CO ₂	7,529	t-CO ₂
削減率（対基準年度）			9.8	%	1.7	%	9.8	%	15.8	%
温室効果ガスみなし総排出量								t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対基準年度）							%	%	%	%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
原単位あたりの排出量										
削減率（対基準年度）				%		%		%		%
原単位あたりのみなし排出量										
削減率（対基準年度）							%	%	%	%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

照明等のLED化により、昨年度と比較して温室効果ガス排出量の削減ができた。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
 備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。
 備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー、省電源の行動実践（冷暖房）	<ul style="list-style-type: none"> ・冷房28℃、暖房20℃を徹底する。 ・熱効率のよい空調システムへの更新を行う 		徹底できている。
省エネルギー、省電源の行動実践（照明）	<ul style="list-style-type: none"> ・使用していない部屋や昼休み、時間外の消灯の徹底。 ・照度が必要ない箇所の照明器具の間引き ・執務室内照明及び誘導灯のLED化を適宜進める 		徹底できている。
省エネルギー、省電源の行動実践（OA機器）	<ul style="list-style-type: none"> ・離席時のスリープ機能の徹底。 ・各種機器の電源オフの徹底。 		徹底できている。
廃棄物の排出抑制	<ul style="list-style-type: none"> ・両面コピー、裏紙利用によるコピー用紙の削減 ・古紙のリサイクル推進 		資料等のペーパーレス化により、紙使用量の削減を推進していく。
自動車等輸送機関に関する対策	<ul style="list-style-type: none"> ・急発進、急加速を控え、アイドリングストップの確実な励行等エコドライブを推進する。 ・次世代自動車の購入。 		低燃費車両の導入を推進していく。

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要 (規模、性能、発生エネルギー量等)

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値 (クレジット等) の活用の状況

計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量 (みなしの削減量) の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

電子決裁導入に伴うペーパーレス化により紙使用量の削減を行った。

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

昼休みに執務室の消灯を行う。
